

「日本デー2017」（ドイツ・デュッセルドルフ）出展レポート

イベント名	第16回デュッセルドルフ/NRW 日本デー (Japan-Tag Düsseldorf/NRW)
日時	2017年5月20日(土) 12時~23時30分
場所	ドイツ・デュッセルドルフ市 ライン川川辺 (ブルク広場から芝生広場/州議会前まで)
主催者	Japan-Tag Düsseldorf/NRW e.V. (デュッセルドルフ日本商工会議所、デュッセルドルフ日本クラブ)
参加者数	約65万人(主催者発表)
ホームページ	http://www.japantag-duesseldorf-nrw.de/

1 イベント概要

★日本デーとは

日本デーはドイツ・デュッセルドルフのライン川沿いを会場に、日本文化を紹介する場として2002年から始まりました。日本企業や現地の事業者、交流団体などによる多数の展示・体験・販売ブースの出展や、ステージでの日本に関わる音楽や舞踊のパフォーマンス、カラオケ大会、コスプレファッションショー等、幅広く日本文化を楽しめる内容となっています。日本デー開催日の近辺では、日独の経済シンポジウムや、博物館における日本関連の展示会など、多くの関連行事も開催されます。単なる現地在住日本人によるイベントではなく、強い集客力を持つデュッセルドルフ市の春の一大イベントとして現地に受け入れられています。

★日本デー来場者

日本のポップカルチャーに関心を持つ若者から訪日旅行を計画中の家族連れ、日本の伝統文化に興味があるお年寄り等幅広い層のお客さんが、会場のライン川沿いの遊歩道やブルク広場を埋め尽くすほど来場します。来場者の大多数は日本文化に興味のあるドイツの方です。イベント開始時間は12時からですが、10時頃にはすでにたくさんの人が会場付近を散策していました。

★デュッセルドルフ

デュッセルドルフは、ドイツの北西部ノルトライン＝ヴェストファーレン州に位置する人口約60万人の都市です。多数の日本企業の駐在事務所があり、欧州屈指の日本人が多く暮らす街としても知られています。



2 当事務所ブース

★出展内容・結果

当事務所のブースでは、

- (1) 各自治体提供のパンフレット、ポスター及びDVD映像による日本各地域のPR
 - (2) 訪日旅行についてのアンケートの実施及びアンケート回答ノベルティの配布
- を主に行いました。ブースには500名以上（アンケート回収数等より推計）が来場し、3,000枚ほど持参したパンフレットと展示ポスターも15時すぎには全て来場者の手に渡りました。

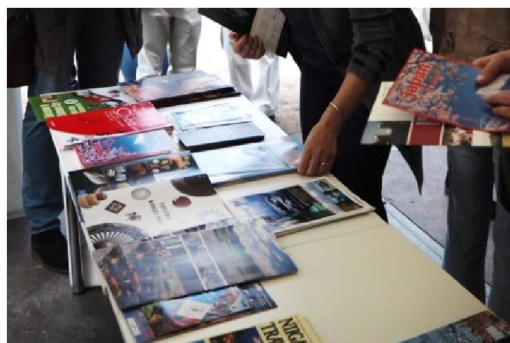


★ チラシ・パンフレット・ポスター

日本デーの来場者はロンドン等のイベント来場者に比べて紙媒体資料（パンフレットやポスター）を好む方が多く、机の上にパンフレットを並べると、イベント開始前にも関わらず次々と来場者が訪れ、パンフレットを手にとっていました。ポスターも、持ち帰りたいので取り置きできるかとの質問を数件受けました。

パンフレットデザインについては、情報量が多いもの、写真の掲載がないもの、小さいものや両面一枚刷りのチラシ等より、A4 冊子タイプで表紙写真の見せ方が上手なものの人気が高いです。また、伝統工芸や和の雰囲気、日本の原風景を想起させる写真を使用したポスターやパンフレットに人が集まっていました。

英語パンフレットでも手にとってもらえますが、ドイツ語パンフレットの人気には及ばないため、特にドイツでのPRを考えている自治体はドイツ語パンフレットを作成することがおすすめです。



★ 観光PR

日本への旅行に興味のある方は約2週間～3週間程度の滞在を想定しており、単独の自治体のみを訪問しようとする方は多くありません。有名都市（北海道、東京、京都、大阪等）と地方都市を組み合わせる観光したいという声も多く、自治体単独でのPRより広域周遊プランを提示する方が興味を引くようです。

★日本デーへの出展及びPRについて

日本文化や日本への旅行に興味関心がある方や、東京等の主要都市への訪問歴や在住経験がある方が多数来場していること、あらゆる年代の方が参加していること、パンフレットやポスター等の紙媒体に対する関心が高いこと等から、ポスター・パンフレット使用による自治体の観光・誘客PRを行う場としてはかなり効果的なイベントだと思います。

3 その他出展者情報等

日本の自治体関係では、千葉県、福島県、大阪観光局が単独ブースを設置していたほか、ANA や JR 東海等の企業も、沿線の関係自治体とパンフレット等で協力しながらブース運営を行っており、どのブースも多数の来場者でにぎわっていました。

福島県はデュッセルドルフ市があるノルトライン＝ヴェストファーレン州と再生可能エネルギー及び医療関連産業の分野で産学連携事業での経済交流を進めており、そういった日本デー開催地の地域に根差した取り組みについても紹介しながら、福島県勤務中のドイツ CIR（JET プログラム参加者）と県職員等が一体となって県の PR を行っていたのが印象的でした。



(福島県ブース)

4 終わりに

当事務所の日本デーへの出展は今年度で4回目となりましたが、本出展事業を通して、1人でも多くの方が日本の自治体に興味を持ち、実際に訪問していただければと思います。
※会場でのアンケート結果は別紙をご覧ください。

